

2012年度受託研究概要報告

人材育成活動におけるビデオ・ドキュメンテーションの実践と分析

研究メンバー

曾和具之 デザイン学部プロダクトデザイン学科准教授

委託者

株式会社ビジコム

研究概要

本研究は、会社の社内教育における人材育成プログラムにおいて、ビデオによるリアルタイム・ドキュメンテーションを実施し、参加者の体験を可視化することによって、言語化の難しい体験情報を円滑に共有することのできるビデオ・ドキュメンテーションの制作手法を構築することを目的としている。具体的には以下のワークショップにおいてリアルタイム・ドキュメンテーションを行い、撮影・編集方法について分析を行った。

第10期ダスキンフランチャイズチェーン全国加盟店会

第6回経営者勉強会

日時：2012年7月2日

対象：ダスキンフランチャイズ全国加盟店会会員約300名

内容：フランチャイズオーナーを対象にした人材育成セミナー。「加盟店の未来を語る」「人が生き生き働く場を語る」「事業承継を語る」の3部会に分かれ、約3時間かけてグループワークを行いながらディスカッションを行った。

研究成果

ビデオによるリアルタイム・ドキュメンテーションを行う上で、以下の知見を得た。

(1) グループディスカッション時の撮影視点に関しては、ディスカッションの内容を追うのではなく、参加者の仕草を記録することで、文脈を構成しない映像にまとめることが必要である。

(2) グループによってディスカッション形態は異なり、リーダー的人材によってリードされるグループや、ファシリテータ的人材の介入により、議論に優劣がつかないよう進められるグループ、またはそれぞれが自由に発言し、統一した結果を求めないグループなどが現れた。ドキュメンテーションでは、おのもののグループに見られるディスカッションの特長を視覚的に捉え、会の最後に全員で振り返ることによって、ディスカッションの多様性について、共通理解を深めることができた。